

「ありがとう」と「笑顔」があふれた2日間



壬生町の大人と子どもが一つになり活動しました。被災者を支援しようとする大人たちに交じり、子どもたちは、作品を展示したり、合奏や合唱の発表をしたりしてチャリティーを盛り上げました。

ボランティアとして125人の中学生が参加してくれました。模擬店の手伝い、募金活動や環境美化などに取り組み、笑顔と元気でチャリティーを支えました。



参加した中学生の声（南犬飼中）

- 元氣よく働くと、周りの人も元気になる。(中3男子)
- 小さい子と笑顔でふれあえました。(中3女子)
- 地域の人たちとふれあい、「ありがとう」と言われるとうれしくて、達成感がありました。(中2女子)
- 心が通じ合って、たくさんの人々と関わるのが改めて好きだと感じた。(中2女子)
- 小さな子どもなどに接して、とてもいい気分になりました。来年も参加したいです。(中1女子)

東日本大震災被災者支援

チャリティー交流会

5月
25日(土)・26日(日)

主催 壬生町文化協会

共催 壬生町、壬生町教育委員会

参加した中学生の声（壬生中）

- 「頑張ってね」「ありがとう」と、大人の方があたたかい声で応援してくださったので、充実した2日間を過ごせました。(中3女子)
- お客様に笑顔で接すると、笑顔で返してくれた。「ありがとう」と言われたことが一番うれしかった。(中2女子)
- 地域の人たちとかかわりを深められたのでよかったです。(中1女子)
- 忙しくなっても、大人の方が声をかけてくださったおかげで元気が出た。(中1男子)

中学生の地域活動の推進にご協力いただいた出店団体の皆様から

- とても活発で明るく意欲があり、私達も笑顔をもらいました。
- 元気をもらった。
- 孫のような子と接して大変元気をもらいました。ハッキリとあいさつができて気持ちよかった。
- 目上の者に対しての礼儀がきちんとしている。我々もいろいろな話をし、非常に楽しかった。
- 人の流れが途絶えたとき、自主的に商品を手にして店の前を出て売り上げを伸ばそうとしていた。それも楽しそうに！！頼もしい中学生を見てうれしかった。



25日 85人の中学生がボランティアとして参加しました



26日 94人の中学生がボランティアとして参加しました

次代の壬生町を担う中学生が、豊かな体験や出会いをとおして地域を愛する心や自己有用感を育てていけるよう、これからも保護者や地域の皆様のご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いします。